

地域密着型金融の具体的な取組みの進捗状況（要約）

津山信用金庫

21年4月から22年3月の進捗状況

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

(1) 事業再生・経営改善支援機能等の強化

①身近な情報提供、経営指導、相談機能の強化

- ・企業支援課による経営改善計画策定先の指導および進捗管理等を実施しました。
- ・平成17年から毎年9月に開催している、岡山県下の8信用金庫等が取引先を対象とした「しんきん合同ビジネス交流会」（ビジネスマッチング商談会）を、21年9月9日に、438社が参加してコンベックス岡山にて開催し、当庫からは22社が参加しました。
- ・17年4月から発足した若手経営者の勉強会「つしん経営塾」の第4期（会員数52名）を1年間のカリキュラムで21年4月に立ち上げ、21年4月から22年3月の間に5回研修会を開催しました。なお、当庫からも課長および次長・代理8名が参加しました。
- ・21年5月1日にM&A業務の取扱いを開始しました。
- ・21年10月8日に（社）中小企業診断協会岡山県支部との情報交換会を開催し当庫から役員および支店長クラス19名が参加しました。
- ・22年3月5日に取引先企業を対象とした経済講演会を開催しました。

②的確な事業再生・経営改善計画の策定に向けた取組みの強化

- ・企業支援課による営業店指導を実施するとともに、現在14先について経営改善計画書を作成し、これに沿って要注意債権等の健全化を図っています。

③商工会議所、商工会、中小企業再生支援協議会等、他機関との連携強化に向けた取組みの強化

- ・21年10月8日に（社）中小企業診断協会岡山県支部との情報交換会を開催し当庫から役員および支店長クラス19名が参加しました。
- ・商工会議所、商工会提携制度融資を推進しております。

④各種ファンド、DES、DDS等の活用

- ・21年4月から22年3月の間に「企業再生支援」に係る中信協が主催の3日間の外部研修に次長が1名、「企業再生支援実践」に係る全信協が主催の4日間の外部研修に次長が1名参加しました。
- ・21年10月7日に信金中金主催の「地域密着型金融セミナー」に課長1名が参加しました。
- ・DDSとして、1件351,679千円実行しました。

⑤目利き能力の向上、人材の育成・活用

- ・21年4月から22年3月の間に「目利き」能力向上のために、全信協が主催の5日間の外部研修に次長・代理各1名、中信協が主催の3日間の外部研修に次長1名、「つしん経営塾」に課長および次長・代理8名がそれぞれ参加しました。
- ・公的資格等の取得奨励を実施しており、21年4月から22年3月の間に法務関係で6名、財務関係で7名がそれぞれ銀行業務検定試験および金融業務検定に合格しております。

(2) 創業・新事業支援機能等の強化

- ・21年4月27日に日本政策金融公庫との情報交換会を開催しました。
- ・創業関連融資として、3件32,000千円実行しました。
- ・新事業関連資金として、1件30,000千円実行しました。

2. 事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

(1) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の徹底

- ①目利き機能、定性情報の適正な評価、定量情報の質の向上に向けた取組みの強化
 - ・債務者の業況把握のために、ローンレビューを実施しました。
 - ・設備資金等融資実行後のモニタリングを実施しました。
- ②中小企業に適した資金供給手法の多様化
 - ・しんきんデータベース（SDB）を活用したビジネスローンとして、2件5,100千円実行しました。
 - ・動産担保融資として、1件580千円実行しました。

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

(1) 地域の面的再生

- ①地域経済のビジョン策定への支援、「公民連携」への参画、情報機能・ネットワークを活用した支援等
 - ・21年5月19日に中国地区産業クラスターサポート金融会議へ企業支援課長1名が参加しました。
 - ・21年9月9日に開催した第5回しんきん合同ビジネス交流会において、産学連携コーナー（12大学等）を設置し「公民連携」に参画しました。
 - ・22年2月15日に産業クラスターサポート金融会議（地域分科会）へ企業支援課長1名が参加しました。

(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供

- ①金融知識の普及、多重債務者問題への対応、コミュニティ・ビジネスやNPOへの支援・融資
 - ・多重債務者向けのおまとめローンについて検討を行いました。

個人保証に過度に依存しない融資の取組状況

平成22年3月31日現在の取扱残高等

1. 動産・債権譲渡担保融資（ABLを含む）
該当ありません。

2. 知的財産担保融資
該当ありません。

3. コバナンツを活用した融資
該当ありません。

4. スコアリングモデルを活用した融資等

実績は津山商工会議所会員向け制度融資が2件2百万円、岡山県中小企業家同友会会員向け融資が1件24百万円、(財)岡山県産業振興財団賛助会員向け融資が1件24百万円、及びスコアリングモデルを活用したビジネスローンが8件15百万円となっております。

5. その他

実績は第三者保証人を徴求しない融資商品が306件、2,370百万円となっております。

以 上

経営改善支援等の取組み実績

【21年4月～22年3月】

(単位：先数)

(単位：%)

	期初 債務者数					経営改善 支援取組 み率	ランク アップ率	再生計画 策定率	
		うち 経営改善支援 取組み先数	αのうち期 末に債務者 区分がラン クアップし た先数	αのうち期 末に債務者 区分が変化 しなかった 先数	αのうち再 生計画を策 定した先数				
	A	α	β	γ	δ	α/A	β/α	δ/α	
正常先 ①	705	3	/	2	3	0.4%	/	100.0%	
要注意先	うちその他 要注意先 ②	313	9	0	8	9	2.9%	0.0%	100.0%
	うち 要管理先 ③	7	0	0	0	0	0.0%	-	-
破綻懸念先 ④	30	4	1	3	4	13.3%	25.0%	100.0%	
実質破綻先 ⑤	23	0	0	0	0	0.0%	-	-	
破綻先 ⑥	12	0	0	0	0	0.0%	-	-	
小計 (②～⑥の計)	385	13	1	11	13	3.4%	7.7%	100.0%	
合計	1,090	16	1	13	16	1.5%	6.3%	100.0%	

(注)・期初債務者数及び債務者区分は21年4月当初時点で整理

- ・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業（個人事業主を含む。）であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含まない。
※経営改善支援取組み先の定義については、これまでと同様ですが、詳細については別紙「経営改善支援取組み先の定義について」を参照。
- ・βには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載。
なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はαに含めるもののβに含めない。
- ・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はβに含める。
- ・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については（仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても）期初の債務者区分に従って整理すること。
- ・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めない。
- ・γには、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載。
- ・みなし正常先については正常先の債務者数に計上のこと。
- ・「再生計画を策定した先数δ」＝「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」＋「RCCの支援決定先」＋「金融機関独自の再生計画策定先」